

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【 I II V 】
2 実施対象者	多賀城市立第二中学校 全校生徒（420名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間・保健体育）</p> <p>② 行事名（スポーツ教室）</p> <p>③ その他（全校集会、部活動）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（中高生のためのスポーツボランティア体験講座）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県開催のオリンピック競技にボランティアという形で主体的に参加しようとする態度を育てる。</li> <li>スポーツボランティア活動を通して、ボランティアの意義、マナーとおもてなしの心を育成する。</li> <li>オリンピック・パラリンピックを様々な面から捉え、理解する。</li> </ul>
5 取組内容	<p>&lt;事前準備&gt;</p> <p>7月 計画・役割分担</p> <p>9月5日 事前アンケート実施</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <p>9月7日 全校集会 全校生徒に、オリパラ教育に取り組むこと、そのねらい、活動予定について発表した。</p> <p>9月7日 講演会「みやぎのスポーツボランティア」 公益財団法人「スポーツコミッションせんだい」の理事の方を講師に迎え全校生徒対象の講演会を実施した。</p> <p>〔主な内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツボランティアのめざすもの・楽しさ</li> <li>宮城・仙台のスポーツボランティアの変遷と活動</li> <li>宮城県としてのオリパラボランティアへの取組の予定</li> <li>中学生でも参加・体験できるスポーツボランティア</li> </ul>



## 10月27日 スポーツボランティア事前研修（第1回）

前述の講演を受け、「中高生のためのスポーツボランティア育成講座」に参加を希望した生徒、教員を対象に、「スポーツコミッションせんだい」の理事の方に来校いただき事前研修を実施した。



## 11月下旬 オリンピック・パラリンピックに関する授業

1・2年生270名を対象に保健体育の授業として実施した。

オリパラの意義と歴史について「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考映像資料」を活用して学習した。また、オリパラと宮城県との関係を理解し、オリパラが自分に身近なスポーツイベントであることを実感した。



## 12月7日 スポーツ教室

バレーボール元日本代表大林素子氏を本校体育館にお招きし、スポーツ教室（朝日新聞社、トンボ学生服主催）を開催した。

### ○講演

「マイドリーム」と題して、競技人生を通じて得た様々な経験や学んだこと、競技者として感じたオリンピックなどのお話をいただいた。

### 〔主な内容〕

- ・子どもの頃にバレーボールを始めたきっかけ
- ・オリンピック選手となる転機となった出来事
- ・自分の夢を実現するために大切な心構え

### ○実技指導

本校と近隣中学校の女子バレーボール部員約30名を対象に、練習に対する意識の持ち方、プレーを楽しむことを教えていただいた。



## 12月9日 スポーツボランティア事前研修（第2回）

「スポーツコミッションせんだい」の理事の方に来校いただき「中高生のためのスポーツボランティア育成講座」参加希望の生徒が事前研修を受講した。

	<p>11～1月 「中高生のためのボランティア体験講座」参加        在仙プロスポーツの主催試合に運営ボランティアとして参加した。主に次の業務を担当した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者受付等の対応</li> <li>・エコステーションの案内</li> <li>・案内パンフレットの配布</li> <li>・来場者案内</li> </ul> <p>〔参加実績〕</p> <table border="0"> <tr> <td>11月24日</td> <td>プロバスケット</td> <td>仙台89ers</td> <td>8名参加</td> </tr> <tr> <td>12月23日</td> <td>プロバスケット</td> <td>仙台89ers</td> <td>8名参加</td> </tr> <tr> <td>12月24日</td> <td>プロバスケット</td> <td>仙台89ers</td> <td>8名参加</td> </tr> <tr> <td>1月 5日</td> <td>プロバスケット</td> <td>仙台89ers</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>1月20日</td> <td>プロフットサル</td> <td>ボスクオーレ仙台</td> <td>5名参加</td> </tr> <tr> <td>1月26日</td> <td>プロバスケット</td> <td>仙台89ers</td> <td>5名参加</td> </tr> <tr> <td>1月27日</td> <td>プロバスケット</td> <td>仙台89ers</td> <td>4名参加</td> </tr> </table> <p>〈事後指導〉        2月1日 振り返りと事後アンケート実施        宮城県開催のオリンピックの都市ボランティアの募集計画を提示し、スポーツボランティア活動をオリンピックのボランティア活動へつなげる橋渡しをした。</p>	11月24日	プロバスケット	仙台89ers	8名参加	12月23日	プロバスケット	仙台89ers	8名参加	12月24日	プロバスケット	仙台89ers	8名参加	1月 5日	プロバスケット	仙台89ers	1名参加	1月20日	プロフットサル	ボスクオーレ仙台	5名参加	1月26日	プロバスケット	仙台89ers	5名参加	1月27日	プロバスケット	仙台89ers	4名参加
11月24日	プロバスケット	仙台89ers	8名参加																										
12月23日	プロバスケット	仙台89ers	8名参加																										
12月24日	プロバスケット	仙台89ers	8名参加																										
1月 5日	プロバスケット	仙台89ers	1名参加																										
1月20日	プロフットサル	ボスクオーレ仙台	5名参加																										
1月26日	プロバスケット	仙台89ers	5名参加																										
1月27日	プロバスケット	仙台89ers	4名参加																										
<p>6 主な成果</p>	<p>意識調査ではオリンピック・パラリンピックに関する興味や、ボランティアとしての参加意欲の割合に大きな変容は見られなかった。しかし、オリンピック・パラリンピックについての知識が身に付いたことで、身近なところで行われる身近なイベントだと実感できてきた。さらに、スポーツボランティアの活動を通じて、市民ボランティアとしてオリンピック・パラリンピックに参加できることを知り、より関わろうとする思いが育ってきたようである。特に、スポーツボランティアに関する研修、2020東京大会宮城県都市ボランティアへの応募などを希望する生徒が増えた。また、実際にスポーツボランティアに参加した生徒はコミュニケーションの大切さ、人との接し方、支える気持ちが伝わったときの喜びなど「マナーやおもてなし」の意味を実感することができた。これらの働きかけはとても有効と考えられる。</p>																												
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人やNPO法人の市民スポーツボランティア団体の全面的な協力をいただき、スポーツボランティアについての学習を行うことができた。</li> <li>・企業などの社会貢献活動にも協力をいただけたので、とても少ない経費で“5 取り組み内容”の活動を行うことができた。</li> <li>・スポーツボランティア体験は限られた人数での体験だったため、全校集会等で紹介することで全校生徒へ伝えることとした。</li> </ul>																												
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツボランティア活動は、全校一斉で取り組むことは無理があるため、部活動単位などの参加になってしまう。</li> <li>・工夫した点でもあるが、ボランティア体験をより多くの生徒が実感を持てるように伝えることが必要である。</li> </ul>																												
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>同様の活動を事業として展開していく予定はない。しかし、スポーツボランティアへの参加は多くの生徒が関心を持っていることから、学校が窓口となって機会を提供することは検討している。</p>																												

